令和８年第４回定例会　議案第147号補足説明資料

公の施設の指定管理者の指定（飯田市野底山森林公園）について

1　公の施設の概要

(1) 基本情報

ア　施設名（通称）	飯田市野底山森林公園（野底山森林公園）
イ　所在地	飯田市上郷黒田3840番地305
ウ　設置年月日	昭和60年
エ　設置目的	森林の持つ効用を生かした休養、憩い、交流及び野外活動の場を提供し、もって市民の健康及び福祉の増進、青少年の健全な育成並びに森林愛護の意識の高揚を図る
オ　施設・設備	モーリーの森交流館（管理棟）、マレットゴルフ場、ログハウス、キャンプ場、林間広場、姫宮林間学校、屋外炊事場、多目的グランド、木工作業棟ほか
カ　施設の写真	













(2) 管理の状況

ア　施設を管理する所管課	産業経済部林務課
イ　現在の管理方法	指定管理
ウ　指定管理者制度導入年月日	平成26年４月１日
エ　現在の指定管理者名（募集方法）	上郷地域まちづくり委員会（非公募）
オ　現在の指定管理期間	令和４年４月１日～令和９年３月31日
カ　指定管理者が行う業務	・公園施設、備品等の維持管理 ・一般来園者への案内や学習、体験の機会提供等、公園利用者増加につながる各種事業・活動の実施及び支援等

(3) 利用の状況（有効性）

ア　営業（開館）状況	令和６年度	令和７年度	備考
日数	359日	359日	令和７年度は、地区内でクマ目撃情報が多発したため、行事中止等の影響があって利用者数が減少した。
利用者数	49,592人	37,669人	
イ　利用者のニーズ・意見等	施設の予約のわかりやすさ、施設の清掃状態や設備の印象、料金、職員の対応等についてアンケートによる回答があり、「良い」、「まあ良い」がほとんどだった。		
ウ　利用者のメリット（利便性の向上、利用者の増加、地域活性化等の効果）	地元地域が主体となって開催されているさくら祭りやもみじ祭り、外部の実行委員会による焼來肉ロックフェスなど大型のイベントが根付いており、その都度多くの来園者でにぎわいを見せている。また、通常時もキャンプ場をはじめとした施設利用者も堅調に推移しており、市内外からの交流人口増の一翼を担っている。		

(4) 収支の状況（効率性）

ア　決算		令和６年度（円）	令和７年度（円）	備考
収入（A）		12,877,974	13,061,082	
	施設利用料等収入	1,590,600	1,532,125	
	市支出の指定管理料	10,337,000	10,649,000	
	雑収入	364,747	315,337	
	施設修繕基金繰入	595,627	564,620	
支出（B）		12,877,974	13,061,082	
	人件費	6,552,879	6,817,238	
	消耗品費	444,849	406,856	
	燃料費	71,756	133,757	
	印刷製本費	121,825	73,810	
	光熱水費	1,082,967	1,025,620	
	修繕費	842,250	629,370	
	通信運搬費	129,037	126,496	
	手数料	307,200	69,800	
	保険料	69,301	144,334	
	委託料	2,600,270	2,348,779	
	施設修繕基金	564,620	1,132,938	
	その他	91,020	152,084	
収支（A－B）		0	0	

イ　運営上のメリット（経費の節減、職員事務量の削減の効果）	コロナの影響で減少した利用者数を改善することができ、また、クマ出没の影響を受けながらも、広報活動や事業展開、クマ対策の実施などにより、その影響を最小限に食い止めて黒字経営を継続するなど、指定管理者による継続した経営努力がみられる。

(5) 外部評価

令和８年度末で指定管理協定期間が終了する施設の実績評価（上記(1)から(4)までに記載の内部評価）に対する外部評価の結果

評価機関	飯田市行財政改革推進委員会	
評価期日	令和８年７月27日	
評価結果	総評	・良好な管理状況と確認した。
	特記事項	・林務課の所管であることは良いと思うが、他部署（観光課、結いターン移住定住推進課等）とも連携して管理することにより大きく変わることを期待する。 ・他の部署とのコラボレーションにより新しい集客の方向が見えると良い。

2　指定管理者選定の経過

(1) 募集の状況

ア　募集方法（公募・非公募）	非公募		
非公募の理由	公園の地元である上郷地域まちづくり委員会に管理を委ねた方が地域づくり等でより効果を得られると判断されるため。		
イ　指定管理者が行う業務	・公園施設、備品等の維持管理 ・一般来園者への案内や学習、体験の機会提供等、公園利用者増加につながる各種事業・活動の実施及び支援等		
ウ　指定管理業務に係る運営経費の試算	項目	金額（円）	備考
	支出（ｱ）	14,920,000	
	人件費	7,966,000	
	維持管理費	3,919,000	
	一般経費	2,390,000	
	事務関連	460,000	
	その他	185,000	
	収入（ｲ）	2,475,000	
	利用料金	1,882,000	
	事業収入	342,000	
	その他	251,000	
	収支（ｲ）-（ｱ）	△12,445,000	
指定管理料	提示上限額　　12,445,000円/年		
エ　応募者数	１団体		

(2) 選定の結果

ア　団体の概要

(ｱ) 名称・商号	上郷地域まちづくり委員会
(ｲ) 代表者	会長　北原重光
(ｳ) 所在地	飯田市上郷飯沼3145番地1
(ｴ) 設立年月日	平成19年4月1日
(ｵ) 設立目的	住民自らが主体となり、市をはじめ各種団体等と協働して、上郷地域の安全で住み易い地域づくりを行い、地域の繁栄と教育文化の向上をはかることを目的とする。
(ｶ) 基本財産	－
(ｷ) 役員・職員	会長１名、副会長２名、会計１名、委員長６名、監事２名、その他幹事、特別委員長若干名

イ　選定の理由（令和８年飯田市告示第145号）

平成26年４月から当該施設の指定管理者として良好な管理運営を行っており、飯田市野底山森林公園条例（平成25年12月25日条例第49号）に規定する設置目的の意図が十分理解され、目的に沿った的確な管理運営が期待できる。

また、地元の利を活かし、野底山の森林空間を活かしながら公園の有効活用を図り、地域で支える地域密着型の施設運営が行われるとともに、これまでの活動や知見の蓄積を活用した情報発信や事業実施により、市内外からの交流人口増が期待できる。

(3) 評価の視点（適格性）

区分	配点	得点	評価
ア　指定管理者としての適性	10	7.50	施設の設置目的を理解し、施設の管理運営に関する適正な管理計画が提案された。団体の財務状況は良好であり、管理運営の能力はある。
イ　施設の有効活用	10	6.88	施設の機能を十分に生かし、森林公園の環境を活かした工夫や取組が提案された。
ウ　利用者対応（改善姿勢）	20	16.25	利用者が利用しやすい環境づくりへの配慮や利用者と連携した情報発信の取組など、施設機能の向上と利用者ニーズに対応する提案がされた。
エ　事業収支（収支の妥当性）	10	5.63	事業計画に基づく収支予算の見積りが提案され、堅実な経営が期待できる（(4) に記載のとおり）。
オ　職員配置等の管理体制	20	13.75	業務に従事する人員について、適切な人的配置が提案された。
カ　危機管理の対応等	20	10.00	災害や事故発生時の対応が適切に計画され、マニュアル化されている。
キ　地域連携・地域貢献	10	8.13	まちづくり委員会が主体となり、地域内の連携を図る体制も確保されており、これまでの活動を継続・発展させる取り組みが提案された。
合計	100	68.14	

（備考）適格の合否基準は、評価得点の合計50.00点以上と定めた上で評価

(4) 提案された令和９年度の事業収支（収支予算の見積り）

項目			金額　（円）
収入（A）			14,920,000
	指定管理業務に係る収入		14,920,000
		市支出の指定管理料	12,445,000
		施設利用料等収入	1,760,000
		事業収入等	242,000
		修繕基金繰入・雑入等	473,000
支出（B）			14,920,000
	人件費		7,966,000
	光熱水費		1,100,000
	燃料費		100,000
	管理事務費		1,382,000
	役務費		453,000
	委託料		3,734,000
	負担金・その他		185,000
収支（A－B）			0